川上村で過ごして生まれたネクストアクション
～地域づくりインターンシップ2019～
木下　昂平

１.参加したきっかけ

- 今年3月に川上村に来たことがあり、職員の方々と交流。
- その訪問が素直に楽しかったこと、自分にとって新たな視点を得られた経験だったこと
- 自分の視野を広げたい思い

2.学んだこと・感じたこと

①川上村の歴史（ダム見学、源流館、樽丸、かわかみ社中）

- 林業に賭けた当時の吉野の村民、その後の産業の衰退
- 大滝ダムが村民の生活を変えた事実
- その中で、水源地の村として出発
- それぞれの役割、これまでの試行錯誤

2.学んだこと・感じたこと

②源流への想いと行動（河川パトロール、川遊び、源流館）

- 水源地の村として、形として見えた「全国うみづくり大会」
- 水源地を「知ってほしい・理解してほしい」の考え
- その考えを形にする村の取組み（パトロール、源流館）
- これが今の川上村の原点？共有はされているのか

2.学んだこと・感じたこと

③コミュニティとはなにか（かわかみらいふ、やまいき市）

- 生活必需品を買うこと以前に村民が求めていること
- 「お互い様」によってコミュニティが支えられている
- 拠点とは場所か？いや、違う！
- 当たり前の会話や交流の重要性
- 野菜作りを活力に
- つながりの創出

2.学んだこと・感じたこと

④肌で感じた川上村の自然と生活

- 川遊び（水の青さ、冷たさ）
- 三之公「水源地の森」（森の強さ）
- 下多古村有林（森と人）
- 暮らす宿hanareで宿泊（かまど、蚊帳）

3-1.川上村の魅力

①村の水源地の考え・役割分担

- 水源地の村づくり（トレッキング、源流館）
- それを伝えられる場所がある、人がいる
- それぞれの役割を全う

3-1.川上村の魅力

②村でしか得られないものがたくさんある

- 水源地をはじめとした自然
- そこで生きてきた人々の知恵（林業、生活、山との関わり）
- たくさんの個性あふれる人
- 都会にはないつながりを感じられること

3-2.一番重要だと感じたキーワード

①「**多様性**」

- 生物多様性のお話
- 川上村ってこんなに広いのか！
- 少しも飽きなかった二週間
- それはなぜか

3-2.一番重要だと感じたキーワード

②「**誇りと熱意**」

- 二日目の村長の言葉
- インターンを通してお会いした方
- その人それぞれの一丁目一番地
- 個性あふれる方が多いのはそのせい？

3-2.一番重要だと感じたキーワード

③「**つながり**」

- 川上村で感じることができるつながり
- 誰とでも繋がれる時代？
- つながりは人の活力の水源地！
- つながりの創出に強く貢献する取り組み

4.ネクストアクション

①川上村とのつながりから

- 川上村の魅力を持ち帰って人に伝える
- 定期的に連絡を取る
- インターン生同士で今後もつながる

4.ネクストアクション

②個人的な指針

個人的に印象に残ったこと
・かわかみらいふ、やまいき市
・川上村と川崎市「コミュニティ、拠点」の比較
・「つながり」の生み出し方

4.ネクストアクション～番外編～

参加にあたって

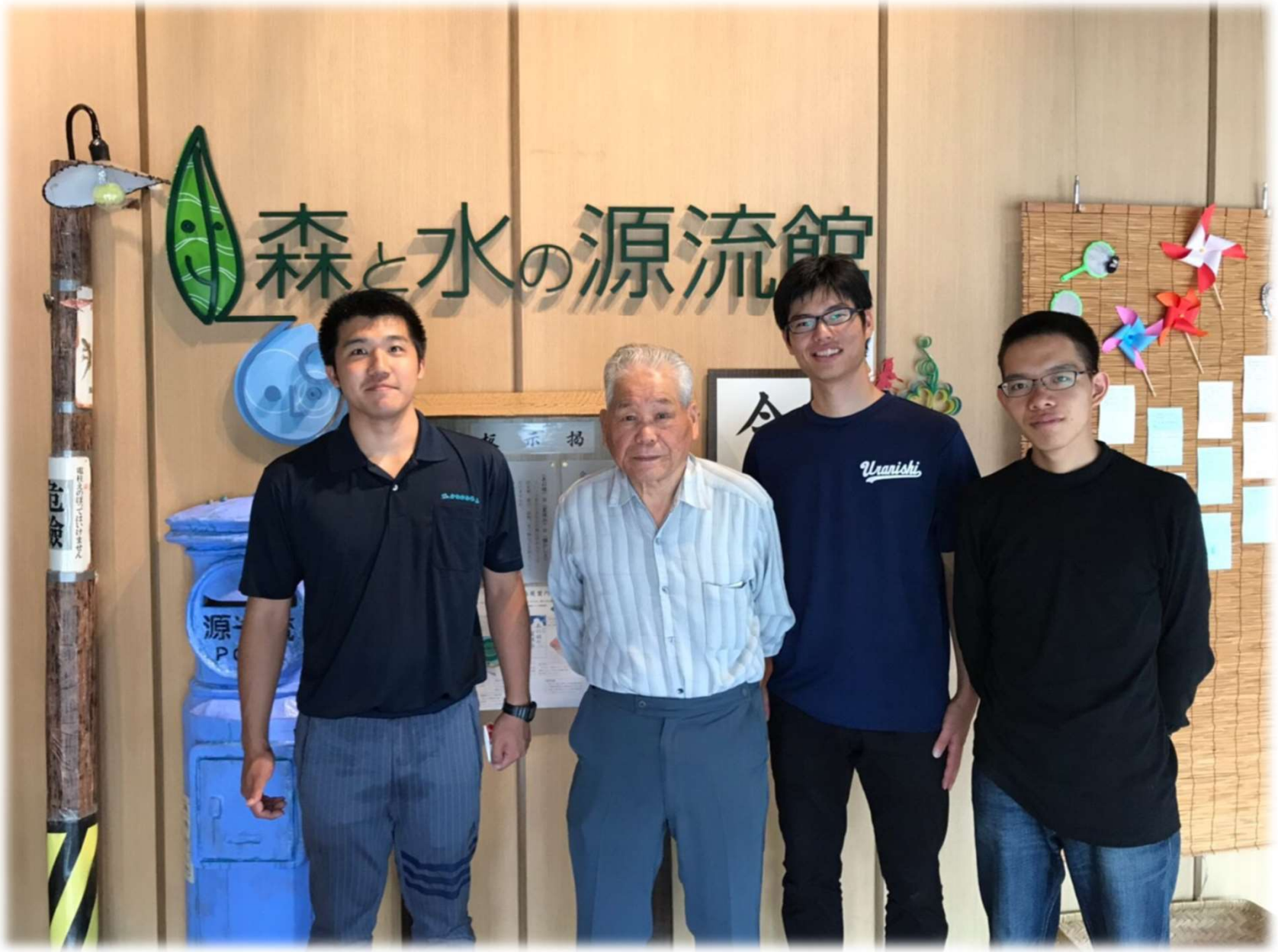
◎行政の役割とはなにか。大切なことは何か
◎自分はどのような公務員になりたいか
◎働くうえで、何を大切にするか

4.ネクストアクション～番外編～

◎行政の役割とはなにか。大切なことは何か
◎自分はどのような公務員になりたいか
⇒役割を決めようとすること自体間違っているのでは
大切なことは何か、答えは出せなかった
→学習よりも、人に会いに行く。すぐに答えを出そうとしない
→問題提起から疑ってみる。なぜこれを知りたいのか
→感じたことは、人に伝える・メモする

4.ネクストアクション～番外編～

◎働くうえで、何を大切にするか
→利益の追求（利益ってなに）
→利益に気づく力を身につけたい
→学生のうちに、できることをする（旅、読書、人に会う）
→思ったことは、人にぶつけてみる


森と水の源流館
Uranishi